



2025年1月21日

各位

会社名 イオン九州株式会社
代表者名 代表取締役社長 中川 伊正
(コード番号：2653 東証スタンダード市場)
問合せ先 取締役 常務執行役員 赤木 正彦
(電話番号 092-441-0611)

当社の親会社 イオン株式会社
代表者名 取締役兼代表執行役社長 吉田 昭夫
(コード番号：8267 東証プライム市場)

通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2024年4月10日に公表した2025年2月期の通期業績予想を下記のとおり修正しましたのでお知らせします。

記

1. 2025年2月期(2024年3月1日~2025年2月28日)通期業績予想の修正について

(1) 連結

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	534,000	10,600	10,600	5,100	148.95
今回修正予想(B)	530,000	9,000	9,300	5,300	155.91
増減額(B-A)	△4,000	△1,600	△1,300	200	
増減率(%)	△0.7	△15.1	△12.3	3.9	
(ご参考)前期実績 (2024年2月期)	510,317	10,382	10,539	7,025	205.20

(2) 個別

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	529,000	11,500	11,400	5,600	163.56
今回修正予想(B)	526,000	9,900	10,200	5,800	170.61
増減額(B-A)	△3,000	△1,600	△1,200	200	
増減率(%)	△0.6	△13.9	△10.5	3.6	
(ご参考)前期実績 (2024年2月期)	508,987	10,969	11,127	7,337	214.30

(3) 修正の理由

個別業績については、当期においては今後の成長に向けた新規出店、既存店活性化を推進するとともに、生活必需品に対する消費者の生活防衛意識の高まりへの対応として「しあわせプラス（応援価格）」やトップバリュベストプライス商品等の生活応援施策、ブラックフライデーセールス等の販促施策等により需要を喚起してきたことで、既存店の売上高前年同期比は第1四半期 101.5%、第2四半期 103.8%、第3四半期 104.4%、当社における最大商戦となる第4四半期においても、足元の12月度は前年同月比 105.2%となるなど、下半期の営業収益はほぼ当初計画通り進捗しております。

一方で、お客さまの節約志向に対応するために生活応援施策を戦略的に強化したことで売上総利益率が前年同期を下回り、第3四半期連結累計期間における営業総利益は前年同期比 102.7%と増加したものの、当初想定を下回って推移しております。また、経費面では、セルフレジや電子棚札等の店舗DX投資や省力化什器の積極的な導入による生産性向上を図り、人時生産性は前年同期に比べて第1四半期 102.0%、第2四半期 103.6%、第3四半期 104.2%、足元の12月度は 106.8%と改善傾向にあるものの、人的資本投資を積極的に実施した結果としての人件費の増加、新規出店や既存店活性化の推進、店舗DX投資の推進等、今後の成長に向けた先行投資に加え、夏場以降の高気温に伴う電気使用量の増加など、各種コストの上昇を補うまでにはいたらず、営業利益、経常利益は当初の計画を下回る見通しとなりました。当期純利益については当初計画を上回る見込みです。

なお、連結業績についても個別業績と同様の理由です。

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上